

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2017.2.15 No. 284 連絡先 042-555-1911



ステルス戦闘機F-22が3機、横田基地に9日飛来、13日離陸しました



2月13日10時、歩いて家に帰る途中に爆音が。東の低空を見ているとF-22ステルス戦闘機が3機、北に向かって飛んでいきました。

F-22は2月9日に飛来していました。

知人からは、米本土とアラスカのF-22が12機、嘉手納基地に到着。太平洋軍HPは米豪演習に行く途中で嘉手納基地に立ち寄ったとされていますが、一方では米軍中佐が、沖縄に90日程度とどまると話しているという情報もありました。

MV-22オスプレイの厚木基地飛来報道 抗議する厚木基地周辺住民の会

2月6日、南関東防衛局から関係自治体に「2月9日（木）及び10日（金）に、MV-22オスプレイ2機が、キャンプ富士及び厚木基地に飛来する可能性がある」旨の情報提供がありました。2月9日、「爆音をなくし、米空母の母港に反対する厚木基地周辺住民の会」と平和委員会などが厚木基地司令官に、MV-22オスプレイの飛来中止などを求めて申し入れを行いました。渉外部長と当直士官が正面玄関で対応し、「要望は司令官に伝える」と答えました。



2月9日、飛来は中止になったと連絡がありました。写真：「住民の会」ニュースより。

横田基地の対応は鉄の扉で住民を拒否

横田基地の対応はどうでしょうか。要望書を渡そうとしても拒否し、その時間帯は重い鉄の扉を締めてしまいます。警察も米軍の言いなりで、国道16号の横断歩道を渡る人数さえ制限します。トモダチ、フレンドシップという言葉が好きな米軍ですが、住民は敵のようです。



辺野古新基地 ブロック大量投入 美ら海や珊瑚を破壊して米国に従属

安倍政権は、辺野古新基地建設工事の本格化を狙っています。本体工事前の、臨時制限区域を示すフロート（浮具）の張りだしを5日までにほぼ終了。7日には海上ヤード設置や護岸工事に伴う汚濁防止膜を固定するブロック投下が始まりました（右写真）。ブロックの重さは1個あたり11.2ト～13.9トで、228個にも及びます。日米政府は同盟強化をいっそう強めています。全力で新基地建設を阻止しましょう。（写真提供：森住卓氏。写真は印刷の関係で明るく補正）



沖縄オスプレイ墜落 米海兵隊のフライトマニュアルが漂着した！ (No. 284 裏面)

海兵隊普天間基地所属の MV-22 オスプレイが沖縄・名護市安部（あぶ）の海岸に墜落したのは、2016 年 12 月 13 日午後 9 時半頃でした。「事故から 1 週間後、墜落したスプレイのものとみられるフライトマニュアルが現場から南に約 18 キロメートル離れた海岸に漂着していた。このマニュアルを、米軍機や民間機に詳しい 3 人の専門家の協力を得て分析すると、米軍が事故の詳細を一切明らかにしない理由や作戦の秘密が浮かび上がってきた。」と、新藤健一氏（フォトジャーナリスト）の記事を『週刊金曜日』の 2 月 3 日号と 10 日号が掲載。

墜落した海兵隊オスプレイは夜間に空中給油訓練をしていましたが、給油していたのは KC-130 ではなく空軍嘉手納基地の第 353 特殊作戦群の MC-130J でした。記事の中で、今回の墜落事故は、「空軍、海軍、陸軍、海兵隊 4 軍の大規模な演習の中で起きた出来事ではないのでしょうか。」という指摘があります。危険を承知で、米軍の秘密の演習が日本で行われることに怒りを感じます。オスプレイ墜落事故の徹底究明を！



オスプレイ空中給油 チェックリストの主な緊急時の警告

- ホースやほかの装備がオスプレイにぶつかることがあります。プロペラにぶつかれば大惨事を引き起こしかねない。
- ホースと給油管が外れないとき、給油機とオスプレイの距離を縮め給油機からホースを切断（ギロチン）。（琉球新報より）

オスプレイ訓練、実際は「60メートル」なのか？ 政府説明は「150メートル」

米海兵隊の MV-22 オスプレイの運用で、日本政府が最低安全高度を地上約 150 メートル以上と説明していたのに対し、実際の海兵隊による運用は約 60 メートルに設定していることが 13 日までに分かったと、琉球新報が 2 月 14 日報道しています。米海兵隊司令部が 2009 年 8 月 31 日付で出した「MV22（オスプレイ）戦術即応マニュアル」の「防御戦闘作戦（DCM）行動の規則」の中で「DCM は昼間・有視界状況で行わなければならない」とした上で「ティルトローター機（オスプレイ）の飛行最低高度は地上 200 フィート（約 60 メートル）」と明記しています。

琉球新報は、昨年 12 月に名護市安部で墜落したオスプレイの操縦士の物とみられるチェックリスト（確認書）で、NVG（夜間暗視眼鏡）を使った訓練の項目で「レーダー高度設定」の欄に手書きで「200 フィート」と記入されていた、とし、これは飛行前の打ち合わせ時の記入とみられ、訓練の前提としての 200 フィートに設定されていたことになる、と報道しています。

CV-22の部隊が専用的に使用する施設の整備工事(2016~2020米会計年度実施)

CV-22 オスプレイの横田基地配備に関する施設整備事業の工期について防衛省からの情報提供。

横田基地に所在する施設の定期的な維持管理工事の、①格納庫 102 の改装、格納庫 1 の増築・改築、②建物 584 の改修、外部遮断保管施設の建設、臨時の飛行隊運用施設の敷地造成、③駐機場の舗装の改修、誘導路待機地点の改修、緊急用着陸パッドの建設は 2017 年 1 月完成。④チャフ及びフレア保管施設の建設、弾薬・装備保管施設の建設、多用途整備施設の建設は 2017 年 3 月完成予定です。CV-22 の部隊が専用的に使用する施設の整備工事については、①飛行場駐機場の建設は 2018 年 2 月～2020 年 9 月予定。②格納庫/AMU（航空機整備ユニット）の建設は 2018 年 11 月から 2021 年 7 月予定。③飛行隊施設及び倉庫の建設は 2018 年 10 月～2021 年 9 月予定。④シミュレーターの建設は 2018 年 11 月～2021 年 7 月予定。